

平成26年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年12月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社OSGコーポレーション
 コード番号 6757 URL <http://www.osg-nandemonet.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 溝端 雅敏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 藤沢 和一

TEL 06-6357-0101

四半期報告書提出予定日 平成25年12月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年1月期第3四半期の連結業績(平成25年2月1日～平成25年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年1月期第3四半期	3,989	3.1	232	27.4	227	31.8	94	△21.5
25年1月期第3四半期	3,870	△4.4	182	△51.9	172	△52.4	120	△23.9

(注) 包括利益 26年1月期第3四半期 110百万円 (△20.6%) 25年1月期第3四半期 139百万円 (△11.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年1月期第3四半期	21.06	—
25年1月期第3四半期	26.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年1月期第3四半期	3,891	2,064	51.2	442.78
25年1月期	4,030	2,017	48.7	436.04

(参考) 自己資本 26年1月期第3四半期 1,992百万円 25年1月期 1,962百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年1月期	—	0.00	—	20.00	20.00
26年1月期	—	0.00	—		
26年1月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年1月期の連結業績予想(平成25年2月1日～平成26年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,500	3.1	400	42.7	400	46.1	210	22.6	46.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。
詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年1月期3Q	5,000,000 株	25年1月期	5,000,000 株
② 期末自己株式数	26年1月期3Q	500,215 株	25年1月期	500,215 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年1月期3Q	4,499,785 株	25年1月期3Q	4,499,785 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点において、入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因を前提としおります。従って、実際の業績は内外の状況により異なる結果となる場合がありますのでご承知おきください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国の経済は、昨年12月に誕生した安倍政権の経済政策や日本銀行の大規模な金融緩和策の効果等により、企業収益や個人消費の改善が見られ、景気回復への期待感が高まっています。しかしながら、世界経済を巡る景気の下振れ懸念や来年4月からの消費税率の引き上げ決定による消費低迷の懸念等、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような情勢のもと当社グループとしては、猛暑に伴う熱中症対策としての飲料水や原発問題に起因する飲料水に対する「安心・安全」など、消費者のニーズはより一層高まっており、円安情勢の中で中国企業からの積極的なアプローチもあり、ウォータービジネスは今後も益々拡大すると判断し、機動的に営業活動を展開してまいりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

水関連機器事業につきましては、新事業であるウォータークーラービジネス、成長事業である自販機及び殺菌水ビジネスにおいて、一部期ズレが生じましたが、概ね予定通りに推移し、売上高2,005,562千円（前年同四半期比4.3%増）、営業利益170,164千円（同37.4%増）となりました。

メンテナンス事業につきましては、概ね予定通りに推移し、売上高1,234,591千円（同2.5%増）、営業利益199,569千円（同0.0%増）となりました。

HOD（水宅配）事業につきましては、ボトルドウォーター及び新規プラントの販売は順調に推移しましたが、新規加盟店の獲得に向けた販売費及び人件費が大きく増加した影響により、売上高722,448千円（同1.9%増）、営業損失17,331千円（前年同四半期は営業損失6,416千円）となりました。

以上のような状況で推移した結果、当第3四半期連結累計期間の売上高3,989,179千円（同3.1%増）となりました。しかしながら、先の新事業及び成長事業の育成やHOD（水宅配）事業に伴う販売費及び人件費の増加が影響し、営業利益232,770千円（同27.4%増）、経常利益227,570千円（同31.8%増）となり、四半期純利益につきましては、前期は営業権売却益等による特別利益の発生があり、また今期は税金費用が増え、94,747千円（同21.5%減）となりました。

なお、2020年の東京五輪開催決定により、既に五輪競技施設や公共施設に実績のある弊社は新しい施設の建設・改修及びインフラ整備において、五輪期間中の公共交通機関の利用及び延べ予想来場者数2,500万人への飲料水供給に向けて、現在、積極的に営業活動を展開しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,232,413千円となり、前連結会計年度末に比べ119,115千円減少となりました。これは主に、商品及び製品が34,375千円増加しましたが、受取手形及び売掛金が171,589千円減少したこと等によるものであります。また、固定資産は1,658,879千円となり、前連結会計年度末に比べ20,527千円減少となりました。これは主に、有形固定資産が24,024千円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、3,891,293千円となり、前連結会計年度末に比べ139,642千円減少となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,099,013千円となり、前連結会計年度末に比べ170,871千円減少となりました。これは主に、賞与引当金が48,879千円増加しましたが、短期借入金190,000千円減少したこと等によるものであります。また、固定負債は727,311千円となり、前連結会計年度末に比べ16,489千円減少となりました。これは主に、その他固定負債が18,996千円増加しましたが、社債が40,000千円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、1,826,325千円となり、前連結会計年度末に比べ187,361千円増加となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は2,064,967千円となり、前連結会計年度末に比べ47,718千円増加となりました。これは主に為替換算調整勘定が24,133千円、少数株主持分が17,369千円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は51.2%（前連結会計年度末は48.7%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成25年3月13日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年2月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	546,911	555,826
受取手形及び売掛金	1,104,533	932,944
商品及び製品	300,306	334,682
原材料及び貯蔵品	303,045	293,083
繰延税金資産	55,014	68,598
その他	47,971	53,049
貸倒引当金	△6,253	△5,771
流動資産合計	2,351,528	2,232,413
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,177,180	1,184,168
減価償却累計額	△850,539	△873,556
建物及び構築物（純額）	326,640	310,611
機械装置及び運搬具	222,240	240,041
減価償却累計額	△186,962	△193,806
機械装置及び運搬具（純額）	35,278	46,234
土地	723,955	723,955
その他	523,319	539,526
減価償却累計額	△461,897	△497,056
その他（純額）	61,421	42,470
有形固定資産合計	1,147,295	1,123,271
無形固定資産		
ソフトウェア	17,588	21,596
その他	17,948	17,878
無形固定資産合計	35,536	39,474
投資その他の資産		
投資有価証券	45,702	45,294
長期預金	107,000	107,000
長期貸付金	53,892	53,152
繰延税金資産	53,995	51,213
その他	304,611	314,004
貸倒引当金	△68,626	△74,531
投資その他の資産合計	496,574	496,132
固定資産合計	1,679,407	1,658,879
資産合計	4,030,936	3,891,293

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	373,309	329,286
短期借入金	384,000	194,000
1年内返済予定の長期借入金	120,016	135,980
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
リース債務	17,233	13,448
未払法人税等	76,361	91,334
賞与引当金	31,181	80,060
役員賞与引当金	1,470	1,102
返品調整引当金	22,109	18,824
その他	204,204	194,977
流動負債合計	1,269,885	1,099,013
固定負債		
社債	100,000	60,000
長期借入金	360,705	369,975
リース債務	23,123	20,887
退職給付引当金	117,368	112,365
役員退職慰労引当金	117,954	120,207
資産除去債務	14,072	14,301
その他	10,578	29,574
固定負債合計	743,801	727,311
負債合計	2,013,687	1,826,325
純資産の部		
株主資本		
資本金	601,000	601,000
資本剰余金	690,401	690,401
利益剰余金	859,169	863,920
自己株式	△195,576	△195,576
株主資本合計	1,954,994	1,959,745
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	83	1,547
為替換算調整勘定	6,994	31,128
その他の包括利益累計額合計	7,078	32,675
少数株主持分	55,176	72,546
純資産合計	2,017,248	2,064,967
負債純資産合計	4,030,936	3,891,293

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年10月31日)
売上高	3,870,984	3,989,179
売上原価	1,382,231	1,419,914
売上総利益	2,488,752	2,569,265
販売費及び一般管理費	2,306,001	2,336,494
営業利益	182,751	232,770
営業外収益		
受取利息	2,919	4,114
受取保険金	6,463	—
保険解約返戻金	1,286	—
その他	5,064	6,369
営業外収益合計	15,733	10,484
営業外費用		
支払利息	10,089	9,777
持分法による投資損失	10,941	2,087
その他	4,775	3,818
営業外費用合計	25,806	15,684
経常利益	172,677	227,570
特別利益		
負ののれん発生益	10,383	—
受取和解金	7,900	—
営業権売却益	39,673	3,928
特別利益合計	57,956	3,928
特別損失		
固定資産除却損	104	—
関係会社株式売却損	638	—
特別損失合計	742	—
税金等調整前四半期純利益	229,892	231,499
法人税、住民税及び事業税	119,033	158,676
法人税等調整額	△16,543	△11,132
法人税等合計	102,489	147,544
少数株主損益調整前四半期純利益	127,402	83,955
少数株主利益又は少数株主損失(△)	6,704	△10,791
四半期純利益	120,698	94,747

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	127,402	83,955
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	709	1,463
為替換算調整勘定	11,626	25,179
持分法適用会社に対する持分相当額	△507	△84
その他の包括利益合計	11,828	26,559
四半期包括利益	139,231	110,514
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	132,384	120,344
少数株主に係る四半期包括利益	6,846	△9,830

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年2月1日至平成24年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	水関連機 器事業 (千円)	メンテナ ンス事業 (千円)	H O D (水宅配) 事業 (千円)	その他事業 (千円)	計(千円)		
売上高							
外部顧客への売上高	1,922,212	1,204,944	708,751	35,076	3,870,984	—	3,870,984
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,922,212	1,204,944	708,751	35,076	3,870,984	—	3,870,984
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	123,878	199,569	△6,416	△8,750	308,281	△125,529	182,751

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△125,529千円は、主に提出会社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年2月1日至平成25年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	水関連機 器事業 (千円)	メンテナ ンス事業 (千円)	H O D (水宅配) 事業 (千円)	その他事業 (千円)	計(千円)		
売上高							
外部顧客への売上高	2,005,562	1,234,591	722,448	26,577	3,989,179	—	3,989,179
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,005,562	1,234,591	722,448	26,577	3,989,179	—	3,989,179
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	170,164	199,569	△17,331	3,318	355,721	△122,950	232,770

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△122,950千円は、主に提出会社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。